

動物の診察室から

○ 58 ○

8月14日は病院もお盆休みでした。でも、その朝は十数頭の動物たちが治療にきました。この子たちの何頭かは、その週に具合が悪くなり、毎日の治療が必要な子です。でも、その他の動物たちは数カ月前や何年も前から毎日通院している子たちです。日曜日も、大雪の日でも、飼い主さままた



治療に来たココアちゃん

周囲の励まし受け闘病

毎日通う子たち

ちは毎日ペットを連れてきます。

ましたが、毎日の皮下補液に通うことになりました。

さまの励ましに応えてがんばっています。

お母さんから「ココアは

います。私たちの治療が動物たちの寿命を延ばしているのではありません。周りの励ましに動物たちが応えているのです。

猫のベルちゃんは19歳の男の子です。3年前に血液検査で腎臓が悪くなっていることが分かりました。猫は高齢になると慢性腎炎になる例が多く

た。もう2年になります。が、ベルちゃんの腎機能は少しずつ悪くなって、6月に入ると食欲も落ちてきました。

シャム猫のココアちゃんは20歳の女の子。2年前に慢性腎炎が分かり、腎臓病用の食事を食べていました。しかし、病気が進行して1年半前から毎日の通院治療になりました。何回か具合が悪くなりましたが、その都度、乗り越えてきました。

先日、ココアちゃんのそれは寿命との考え方も

あります。しかし、毎日動物たちを連れてくる方は、二元気になってもらいたい」「少しでも長く生きてもらいたい」と思っています。

みられ、初期の段階では、たくさん水を飲むようになるのですが、食欲がある分、飼い主さまには分からないことがよくあります。

飼い主のお母さまには「お盆にはみんなが帰ってくるのですよ。がんばれるでしょうか」と聞かれました。その時は2カ月は無理と思われましたが、ベルちゃんは、お母

慢性の病気ですから、

私も動物も病気になるたびに、周囲に励ましてくれる人がいると、病気が闘うことができず、何もしないのも治療の限りのことをしてあげ

す。ココアちゃん、みんなもがんばってね!